

News Letter

2022年4月1日 発行



飯田市 歴研ニュース

No. 117

The Iida City Institute
of Historical Research

飯田市歴史研究所

〒395-0803

長野県飯田市鼎下山538

TEL 0265-53-4670

FAX 0265-21-1173

E-mail iih@city.iida.nagano.jp



市民研究員候補・歴史研究活動助成・ 飯田歴研賞2022年候補作品を募集します

歴史研究所では、飯田・下伊那を対象とした地域史研究のさらなる発展を目指して、研究者の養成、研究活動への助成、優れた研究成果の表彰を行っています。2022年度も市民研究員候補、歴史研究活動助成、歴研賞候補作品を募集しますので、奮ってご応募ください。

(各募集の要項や申込書等は飯田市ホームページ「歴史研究所」よりダウンロードできます。)

市民研究員候補募集

市民研究員候補として、市民研究員養成課程の2年間で、飯田・下伊那の地域史にかかわるテーマの研究に取り組んでいただきます。研究員の指導のもと、各種の教育プログラムを通して、歴史研究の基礎を学びながら、修了論文の作成を目指します。課程修了後は、市民研究員となり、歴史研究所の調査研究活動にご参加いただけます。

募集人数	若干名
応募方法	要項をご確認のうえ、申込書を歴史研究所へ提出してください。
募集期間	5月6日（金）～7月30日（土）必着
審査結果	書類審査と面接を行い、8月末までに採否をお知らせします。

2022年申請 研究活動助成募集

飯田・下伊那を対象とした歴史研究活動に経費の助成を行います。

応募資格	①飯田市内や下伊那郡内に住所を有する団体、②卒業論文を作成する大学生、または修士論文を作成する大学院生
研究期間	2023年2月まで。大学院生は2024年2月までも可
助成金額	10万円以内。大学院生が2年間助成をうける場合は、2年間で15万円以内。
応募方法	要項をご確認のうえ、申請書と研究計画書を歴史研究所へ提出してください。
募集期間	5月6日（金）～7月30日（土）必着
審査結果	書類審査などを行い、8月末日までに本事業に適した研究が審査します。
助成金の交付	研究期間の終了後、実績報告書や成果報告などにより、本事業の目的や助成条件に適した研究が審査して、助成金を交付します。

飯田歴研賞2022年候補作品募集

前年度に発表された飯田・下伊那の地域史研究に関する優れた作品に歴研賞（著作賞、論文賞）や奨励賞をお贈りしています。その候補作品を募集します。自薦・他薦は問いません。

対象作品	2021年4月～2022年3月に刊行・発表された著書・論文（自費出版を含む）
募集期間	5月6日（木）～6月30日（木）（作品を持参または郵送してください）

※各募集の詳細は、飯田市ホームページ「歴史研究所」でご確認ください。

研究紹介

座光寺「明治期地番図」から景観の三次元構造を読む

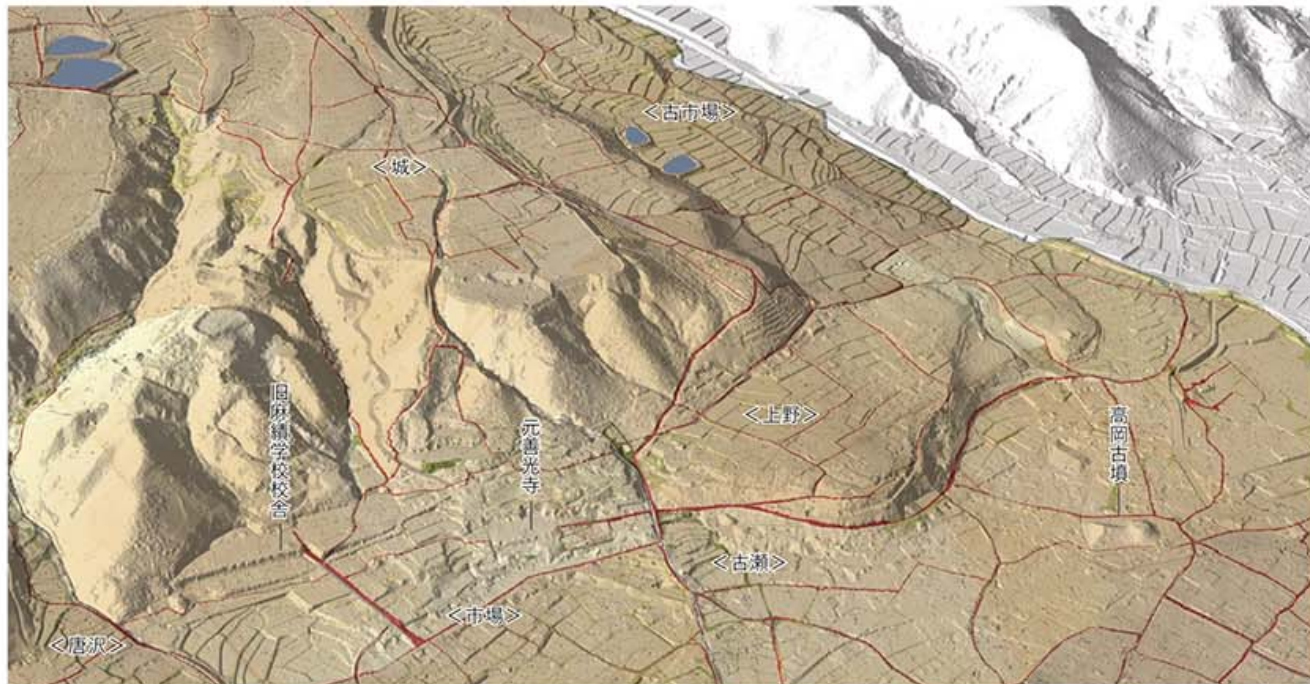


図1



図2



豊橋技術科学大学インターンの様子

歴研ニュース109号でも紹介したとおり、下伊那郡の各町村では、明治20年代前半に当時の町村単位で縮尺1/600の精細な地籍図が作成されています。ときの大蔵大臣松方正義は、内訓(大蔵省達第3890号、明治20年6月20日付)によって、「地図ハ各町村ノ実況ヲ詳カナラシムルモノニシテ、地租調査上ハ勿論、土地百般の徴証ニ欠クベカラザルモノトス」と指示しており、下伊那郡の各町村では、可能な限り精確な地図として調査・製作されたことが推察されます。

今年2月の中旬に豊橋技術科学大学のインターン生として渡邊拓実さん・小倉颯太さんが来所し、明治期の地図史料の撮影と歴史GISに向けたデータ整理作業を手伝っていただきました。今回の作業では、以前から所在を確認していた座光寺麻績史料館の「明治期地番図」(計3冊、全46枚)のデジタル化撮影とArcGISを用いたジオリファレンスを行い、のちほど、それらの画像データを現在の3D地形モデル上に配置し、鳥瞰図として表現することに成功しました(図1=中心部、図2=全体)。

座光寺の「明治期地番図」は、残念ながら年代の記載に欠けますが、地図の描かれた様式からして、上記の明治20年代前半の地籍図であることは確実で、土地の各筆には①地番②地目③土地等級が書き込まれており、それ以外の情報はこの地図とセットでつくられた明治期の土地台帳を参照する必要があります。座光寺では、管見の限り、これより時代がさかのぼる明治初期の地引絵図(測量されていない地番図)が発見されていないため、地番図や地目図としてももっとも古い史料になります。

明治20年代の座光寺と現代の地形データ(長野県林業総合センター提供の0.5mメッシュ標高データ)を比較すると、明治期の地図に描かれた畦畔の分布と現在の耕地の畦畔がピタリと重なるケースが多く、近世以来の農業景観が比較的良好に持続していることが見て取れます。こうしたことは従来の二次元的な地図表示でも確認できますが、三次元化することで、より明瞭に確認できるメリットがあります。歴史的景観構造を理解するうえで、こうした最新の情報技術の活用は、これからも重要な研究手法となると考えられます。

福村任生(歴史研究所研究員)

新刊案内

オーラルヒストリー3 生存の地域史をかたる

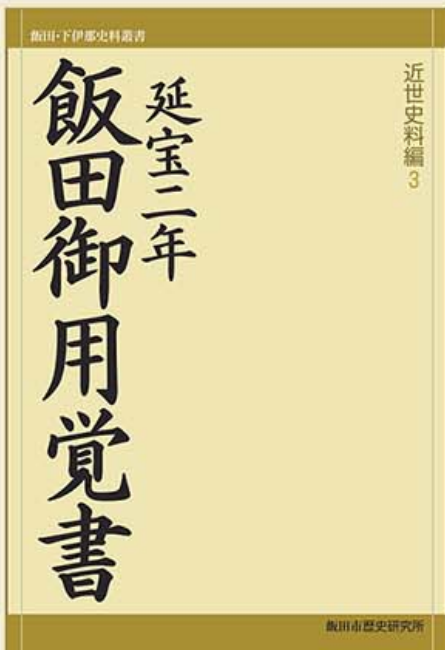
「生存の地域史」とは、地域の人々が、人間らしく生きるために、いかにして生命を産み、育て、守り生活し、働いてきたのか、そのために、どのような人間関係を結び、地域の力を築いてきたのかを探ることです。

本書は、個人の人生経験に向きあって聴くという方法によりました。その対象となった人々は、医療・保健衛生に携わった人々、山村に生きる教師、障がい者や外国由来の方との共生のために奮闘してきた人々などです。編集はコロナ禍のなかの現在と往復しつつ進められました。本書が今日の地域社会における生存の条件を過去にさかのぼって考えていくための一助となれば幸いです。



2022年3月 刊行

飯田市歴史研究所 編
B5判 312頁 定価 1,700円



2022年3月 刊行

飯田市歴史研究所 編
A5判 263頁 定価 2,800円

新刊案内

飯田・下伊那史料叢書 近世史料編3 延宝二年 飯田御用覚書

「飯田御用覚書」は、飯田藩堀家の国元の重臣（用人）が、公務に関わる日々のできごとを記録したものです。寛文 12（1672）年に堀家が飯田へ移ってきて以来、毎年書き継がれたと考えられ、現在は欠損のあるものを含め 25 冊が確認されています。今回、この中でもっとも古い延宝 2（1674）年の「飯田御用覚書」（下伊那教育会所蔵）の全文を翻刻し、史料集として刊行しました。

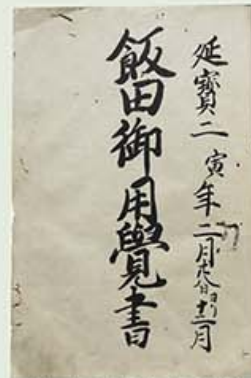
この「御用覚書」には、重臣層による寄合の記録、江戸―飯田間の書状のやりとり、領内支配に関する記録、近隣の旗本や幕領代官とのやりとりなどが記されており、当時の飯田藩の様子を詳しく知ることができます。また、飯田・下伊那の社会のあり様も垣間みられる貴重な史料です。ぜひ手に取ってみてください。

地域史講座

「1674年、堀家飯田藩と社会 —『延宝二年 飯田御用覚書』を読む」

講師：吉田伸之
(東京大学名誉教授／歴史研究所所長)

- ◆日時：4月16日(土) 14:00～16:00
- ◆会場：飯田市美術博物館 講堂
- ◆定員：40名(オンラインでもご参加いただけます)
- ◆申込方法
4月14日(木)までに、電話・FAX・メールのいずれかでお申込みください。その際、受講場所とご連絡先をお知らせください。



(下伊那教育会蔵)

この度、歴史研究所から刊行された『延宝二年 飯田御用覚書』(飯田下伊那史料叢書 近世史料編3)は、1674年、新たに飯田藩の領主となった堀家の重役(用人)たちが交代で記した日々の行政の記録です。このとても貴重な史料をご紹介します。成立したばかりの堀家飯田藩の仕組みや社会のようすを、少し覗いてみようと思います。

定例研究会

※聴講ご希望の方はお電話ください

- ▶飯田・下伊那の近世宿場町の町割を比較する
会場：上郷公民館 2階会議室
開催日：4月9日(土)
時間：14:00～16:00
報告者：福村 任生(歴史研究所研究員)
- ▶大正期における王子製紙の中部工場閉鎖と地域社会—長野県下伊那郡遠山地域に着目して—
会場：県公民館 3階学習展示室
開催日：4月23日(土)
時間：14:00～16:00
報告者：太田 仙一(歴史研究所研究員)

飯田アカデミア2022 第96講座

アイルランドの農村一揆

- 講師：^{かつた しゅんすけ}勝田 俊輔さん
(東京大学大学院人文社会系研究科教授)
- 日時：5月14日(土) 13:30～16:50
15日(日) 10:00～14:30
- 会場：飯田市役所
(オンラインでもご参加いただけます)
- 申込み
5月6日(金)までにお電話(0265-53-4670)でお申込みください。その際に受講方法等についてご案内させていただきます。

※令和4年2月に新型コロナウイルスの影響で延期となっていた講座です。詳細は歴研ニュース115号をご覧ください。

受講生募集!

歴研ゼミ&ワークショップ 4月・5月の予定

会場：歴史研究所 研修室

建築史ゼミ

担当：福村任生(研究員)
4月15日/5月20日
(第3金曜日) 19:00～21:00

近世史ゼミ

担当：羽田真也(研究員)
4月13日・27日/5月11日・25日
(第2・第4水曜日) 18:30～20:30

近現代史ゼミ

担当：田中雅孝(特任研究員)
4月9日/5月28日
(第2・第4土曜日) 10:00～11:40
※4月23日・5月14日は休講

思想史ワークショップ

市民の皆さんが自主的に学び合う場
4月6日・20日/5月18日
(第1・第3水曜日) 19:00～21:00
※5月4日は祝日のため休講

満洲移民研究ゼミ

担当：本島和人(調査研究員)
齊藤俊江(調査研究員)
第123回 4月2日/第124回 5月7日
(第1土曜日) 10:00～11:40

地域史ゼミ

担当：太田仙一(研究員)
4月8日/5月13日
(第2金曜日) 18:30～20:30

ゼミ・ワークショップの詳細・お申込みについては、歴史研究所までお問い合わせください。TEL:0265-53-4670

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発熱・咳などの症状のある方やマスクを着用されない方の受講はご遠慮ください。また、今後の感染状況により、延期または中止、参加者の制限をする場合がありますのであらかじめご了承ください。開催日の1週間前に開催可否を判断します。

開所時間：午前9時～午後5時 休所日：日曜日・月曜日・祝日・12月29日～1月3日
メール配信への切り替えをご希望の方は、E-mail: iihr@city.iida.nagano.jp まで